



新城 哲 議員

子育て教育について

質 子ども家庭総合支援事業の具体的な充実内容について、新たな人員配置や専門職の増員、相談窓口の設置等が予定されているのか伺う。

答 福祉課長（石川 司）

必要とする世帯や子供に対して具体的な支援を提供し、状況の悪化を未然に防ぐ支援を行っています。また新たな人員配置や専門職の増員には至っており、子ども家庭係支援員を中心に可能な範囲で学校からの依頼等も含めて、相談や訪問を積極的に行われている状況です。



安里 周作 議員

フリースクールについて

質 不登校・フリースクール・オルタナティブスクールの定義について伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

不登校は、心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校できない児童生徒で、年間30日以上欠席し、病気や経済的な理由によるものを除いた状態を指します。フリースクールは、不登校の子供に対し、学習活動、教育相談、体験活動を行っている民間の施設で、規模や活動内容は多種多様です。民間の自主性・主体性の下に設置・運営されています。オルタナティブスクールは、公立・私立学校とは異なる教育を提供する学校の総称だと認識しています。

学校教育の充実について

質 学校施設及び通学路の安全点検はどのような項目を対象にしているのか。点検の頻度や体制はどのようなになっているのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

校内の安全点検を毎月1回実施し、危険な箇所を発見した場合は、関係部署へ速やかに連絡し、必要に応じて随時対応を行う体制を整えています。

文化の振興について

質 今後、伝統芸能の保存継承をより効果的に行っていくために新たに検討している施策等があるのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）

地域の御協力を得て、伝統芸能映像記録保存事業をこれまでに名嘉真区、瀬良垣区、恩納区で実施している。本年度事業の助成元であります一般社団法人地域創造が運営する地域文化支援資産ポータルでの一般公開や社会教育課では上映会の開催や、村文化情報センターなどで閲覧などに活用していきたいと考えています。それで伝統芸能の保存継承の一助となれば幸いです。

海岸の保全・管理について

質 海岸環境を維持する上で、現在直面している主な課題などは何か伺う。

答 建設課長（富山 国博）

漂着ごみの増加、海岸の浸食、そして利用者のマナーの問題が挙げられます。特に漂着ごみに関しては、地域のボランティアや関係団体により定期的な清掃活動が実施されて、海岸の地形や季節による潮流の影響により一部の海岸にごみが集中し、海外からの漂着ごみが見受けられることも、依然として大きな課題となっています。恩納村としては、ボランティアの皆様が円滑に活動できるよう、ごみ袋の配布や大型ごみの回収など、関係課と連携を図りながら海岸環境の保全に努めていきます。

地域福祉等に関するアンケート結果報告について

質 住みにくいと感じる人がいる現状を改善するため、行政として、今後どのような優先課題を設定し、生活基盤や福祉サービス向上を進めるのか、その具体的な方針を伺う。

答 福祉課長（石川 司）

福祉サービスとは障がい者、高齢者、子供、低所得者などの支援を必要とする方々の生活を支援し、安心して暮らせる環境を提供するためのサービス全般を指しています。また生活基盤の整備や日々の生活を成り立たせるための土台となるものや、要素を指しています。福祉における生活基盤とは、福祉サービスにおいての生活保護、児童福祉、老人福祉、障害者福祉、ひとり親等に対する生活基盤の整備と理解しています。アンケート調査結果を精査し、引き続き現状に合った福祉サービスの向上につなげていきたいと考えています。

答 村長（長浜 善巳）

アンケート調査結果においては、住みにくいと感じている方の割合が高いのは、買い物物の利便性が大きな要因と理解しており、日常的に買い物ができる環境の整備が必要と考えています。今後調査結果を踏まえ、アンケート調査結果を精査し、改善に向けて福祉サービス向上に取り組んでいきます。



答 村民課長（山城 達也）

保管場所も確保できないことも考え、検討したい。猫を原因とする生活環境被害の軽減策として、無料不妊手術事業は必要な対策の一つと考えています。引き続き行政区や関係機関と連携し、さくらねこ活動を推進して、猫の適正飼育に関する周知等を図ります。

行政懇談会について

質 行政懇談会の目的とは。

答 企画課長（喜久山 隆）

第6次総合計画、後期計画に反映させる目的で行っています。

質 過去何度も同じ内容を提出されている要望についてどのように考えているか伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

事業の緊急性、優先順位を決めて各事業に取り組んでいきたいと考えています。

質 行政と村民が頻繁に意見交換をする機会が必要と思うが考えを伺う。

答 企画課長（喜久山 隆）

区に負担をかけるので、区長常会等で区の意見を聴取して、検討していきたい。

さくらねこについて

質 無料不妊手術事業チケット発行枚数と不妊手術実施の実績を伺う。

答 村民課長（山城 達也）

令和6年度実績で、チケット発行は134枚、手術頭数は113頭です。

質 村長（当時議員の立場）は猫の糞被害について生活環境を充実するよう村に要請しています。猫に関する被害は糞被害のほかに、ごみ置場の散乱、鳴声の被害が挙げられています。先ほどの村長の答弁をお願いします。

答 村長（長浜 善巳）

猫の糞被害について恩納区をはじめ、村内における現状を私も危惧しているところがございます。議員が今回取り上げているさくらねこTNR活動を推進することは好ましいことだと考えています。

質 チケット入手までに時間がかかって、増えていくことが危惧されます。それを補完する施策を当局でできないか、又さくらねこ活動の実施状況を広報等で村民に周知して継続的に取り組む必要があると思うが、考えを伺う。